

平成18年度農薬飛散リスク評価手法等確立調査検討会（第1回）（議事概要）

1 開催日時及び開催場所

日 時：平成18年8月11日（金）14:00～16:30

場 所：糖業会館（中ホール）

2 出席者（敬称略）

委 員：有田芳子、今井勝、上路雅子、上田哲男、小林由幸、白石寛明、福山研二、
宮井俊一、森田昌敏

3 会議の概要

(1) 検討会の趣旨等について

環境省より本検討会の趣旨等について説明が行われた後、開催要領（案）について原案のとおり了承された。

(2) 座長の選出について

座長として森田委員が選出された。

(3) モニタリング調査計画について

調査計画について説明の後、議論が行われ、以下の点を考慮して、必要に応じて調査計画を修正の上、今年度の調査を行うことが了承された。

- ・ 気中濃度調査のオキソン体の検出限界は $0.2 \mu\text{g}/\text{m}^3$ ではなく $0.1 \mu\text{g}/\text{m}^3$ にすることを目標とすること
- ・ 子供の暴露を想定し、大気の採取は地上1.5mに加え低い位置における採取を1地点で追加すること
- ・ 1地点についてはトリクロロホン（DEP）の気中濃度も測定対象とすること
- ・ 検出された農薬が当該地点に散布されたものかどうかを確認するため、調査地点周辺における防除実績の情報を入手するよう努めること
- ・ 土壌の採取は表層5cmの土壌を採取すること
- ・ 気象観測データは重要な情報であるので、調査計画に基づき確実に把握すること
- ・ モニタリング調査地点での農薬散布量及び農薬名は確実に把握しておくこと

なお、調査の実施に当たっては、散布地点や周辺の状況等によりやむを得ず計画を修正する場合があることも了承された。

（以上）